



⑧ 役目を終えた古井小学校のSL

昭和30年代後半に入ると、鉄道輸送も輸送力を高めるため気動車(ディーゼル車)が導入され、それまで活躍してきた蒸気機関車は、沿線地域や乗客乗員への煙害などもあり急速に姿を消していきます。

高山本線でも1969(昭和44)年に蒸気機関車の運行は終了しましたが、主力として活躍したC58形蒸気機関車のうちの1両が、翌年3月に旧国鉄から古井小学校に保存・展示されることとなりました。その設置にあたっては、ディーゼル基地から移動のための仮設の線路が引かれました。

黒煙を噴き上げながら蒸気機関車がゆっくりと校内に到着すると、児童らは大きな喜びの歓声を上げて車両を迎えました。

このC58・280形蒸気機関車、通称「シゴハチ」は、昭和16年に高山機関区に配置され、最後は美濃太田機関区の所属に

なっていたものです。

なお、この機関車は、現在も古井小学校SL保存会の皆さんの手入れを受けながら大切に保管されています。

戦争中の昭和20年8月14日に美濃太田機関区で機銃掃射を受けました。また、昭和40年の岐阜国体の折には、お召列車として走行しました。



▲SLが古井小学校にやってきた(昭和45年)
写真提供：渡辺 誠治さん

文化の森企画展「鉄道のまち」展
(12月18日～3月6日)を開催中